

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：鶴見中央はなかが保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：曾利田 由美子	定員（利用人数）：60名（58名）
所在地：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-16-5 鶴見医師歯科医師会会館2・3F	
TEL：045-633-8787	
ホームページ：http://hanakago.ed.jp/tsurumi_cyuou/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 幸友会	
職員数	常勤職員： 19名 非常勤職員： 1名
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師1名
	園長1名、主任1名 管理栄養士1名、栄養士1名
	保育士13名 調理師1名
施設・設備の概要	（居室数）5保育室、医務室兼相談室、事務室、調理室、ホール
	（設備等）3ヶ所トイレ、職員休憩室、4ヶ所倉庫、屋上園庭、技巧台、跳び箱、ホワイトボード壁面等

③理念・基本方針

【保育理念】

家庭・地域・保育園の絆を大切にする
～一つの大きな家族でありたい～

【保育方針】

心技体を育み、子どもの個性と可能性を拓ける
（心）優しい心・思いやる心・マナーと道徳心を育む
（技）子どもたちの持つ様々な可能性を拓ける・就学に向けての教育基礎を育む
（体）食育と共に健康で丈夫な体づくり・基本的生活習慣を育む

【保育目標】

- ・優しい心・思いやる心・道徳心のある子ども
- ・心身ともに健やかな子ども
- ・丈夫な体づくり
- ・基本的生活習慣やマナーを身につける
- ・就学に向けての教育基礎を学ぶ

④施設・事業所の特徴的な取組

保育方針に沿った取組

・心：たくさんの遊びと日常生活の中から思いやりとマナーを学んでいけるよう取り組んでいます。

異年齢との関わりは、手をつないで一緒に散歩に行ったり公園でルールのある遊びを行ったりして関係を築き、年齢の高い子どもが小さい子どもの意見を聞いたり困っているときは助けてあげたりと自然に思いやりの心が育まれています。

・技：専任講師によるリトミック教室（1歳児～5歳児）、体操教室、絵画造形教室（3～5歳児）を取り入れ、子どもの五感をたくさん刺激し想像力を広げ、個々の力を伸ばしています。

・体：隣に横浜最古でもある鶴見神社、周りには緑や公園も多くあり、静かな環境でありながら遊び場所はたくさんあり、散策を楽しんでいます。

健康で丈夫な体に欠かせない「食」。栄養士が献立を作成し、完全手作り給食を提供しています。どのように食物が実り、調理され、体のどのような栄養に変化するのかを体験・体感できるような食育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年7月8日（契約日） ～ 令和3年2月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの成長に合わせて身体能力の向上を図る

建物の構造上、園庭が無いため天気の良い日は、近隣の神社や公園へ散歩に出かけ、信号のない交差点の渡り方、歩道のない道路の歩き方など注意や交通ルール、マナーを学ぶ機会にしています。公園では、思い切り身体を使った活動をしています。

1～2歳児は、保育室にマットで作った坂道や山の上り下りや、3階のホール等へは階段を使って昇り降りを行い、身体能力の向上を図っています。3～5歳児クラスでは、週1回外部の専門講師による「体操教室」を開催し、子どもの発達に合わせた身体能力の向上に取り組んでいます。

2)保育室内の空間構成の工夫

子ども達が主体的に活動し、年齢や発達に応じて、興味や感心を持って取り組めるよう保育室内に畳、マットや机などで複数のコーナーを設け、環境を整えています。子どもの目線に合わせ、おもちゃや絵本、クレヨンやお絵かき帳などを用意し自由に選んで遊べるようにしています。

室内の環境は、子どもの興味や関心、季節など状況により見直し変更をしています。3階ホールの大型積み木を長椅子として利用し、壁面の大型ホワイトボードは、自由に絵を描いたり発想豊かに創造性をもって遊び込めるようになっています。

3)職員の保育能力向上への取り組み

園長は、鶴見中央はなかご保育園運営規程や事業計画に沿って、職員の保育能力向上に

向けて、各専門・分野別リーダーのキャリアアップ研修などの外部研修や園内研修に積極的に取り組んでいます。

園内研修では、毎月担当職員がテーマを決め、研修内容決定や進行は担当職員が行い、職員間で自主的に運用できるよう工夫しています。職員が、それぞれの外部・園内研修に参加できるよう、主任・園長は勤務時間の調整を行っています。

◇改善を求められる点

1) 人事評価システムを含む保育園運営に関する中期計画の策定

職員の経験や役職に応じた職員像を明確にしたキャリアパスを策定し、職員としての目標が設定出来、その目標達成度に応じた人事評価を行えるシステムを構築して、職員の人材育成の中・長期計画構築を期待します。事業運営と人材確保・育成を結び付けた中・長期計画を策定し、安定した保育園運営を期待します。

2) 帳票類を最新の保育所保育指針に合わせた改定を

入園のしおり（重要事項説明書）や個人情報管理マニュアルなどに、旧保育所保育指針に基づく内容が記載されていますので、最新の内容に訂正し、園の「全体的な計画」の内容と一致することが期待されます。また、帳票類には作成年月日の未記載が散見されますので、全ての帳票類に作成年月日を明記することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナ禍の中、現場の保育を十分見ていただくことができない中での受審となりました。ヒアリングが中心となったため、正直不安もありました。やはり、ヒアリングでは伝えきれないことも多く、もっと現場を見ていただく時間が多かったら、という気持ちもありましたが、それでも、短い時間の中で見逃さずたくさんの良いところを見つけて頂けて安堵しています。

課題は多いですが、一つずつ職員全体で見直しながら子どもたちの為に保育して参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり